

藩邸差配役日日控

著者名： 砂原 浩太郎
出版社： 文藝春秋

『高瀬庄左衛門御留書』『黛家の兄弟』の著者による、清冽なる時代小説
消えた若君と、蠢く陰謀
その時、男は――。
江戸藩邸の“なんでも屋”――藩邸差配役・里村五郎兵衛、誰にもできぬお役を果たすのが、勤めにございます

鈍色幻視行

著者名： 恩田 陸
出版社： 集英社

撮影中の事故により三たび映像化が頓挫した“呪われた”小説『夜果つるところ』と、その著者・飯合梓の謎を追う小説家の露谷梢は、関係者が一堂に会するクルーズ旅行に夫・雅春とともに参加した。船上では、映画監督の角替、映画プロデューサーの進藤、編集者の島崎、漫画家ユニット・真鍋姉妹など、『夜〜』にひとかたならぬ思いを持つ面々が、梢の取材に応じて語り出す。次々と現れる新事実と新解釈。旅の半ば、『夜〜』を読み返した梢は、ある違和感を覚えて――

墨のゆらめき

著者名： 三浦 しをん
出版社： 新潮社

実直なホテルマンは奔放な書家と文字に魅せられていく。書下ろし長篇小説！ 都内の老舗ホテル勤務の続力は招待状の宛名書きを新たに引き受けた書家の遠田薫を訪ねたところ、副業の手紙の代筆を手伝うはめに、この代筆は依頼者に代わって手紙の文面を考え、依頼者の筆跡を模写するというものだった。AmazonのAudible（朗読）との共同企画、配信開始ですすでに大人気の書き下ろし長篇小説。

「バナナ腰」を治せば、体の不調が消える！

著者名： とも先生
出版社： 小学館

腰痛、脊柱管狭窄症もバナナ腰が原因！？
「バナナ腰」とは、バナナのように腰が反りすぎている状態で、著者の整体院に来院する人の9割がこのバナナ腰が根本原因。腰痛、脊柱管狭窄症をはじめ、ぽっこりお腹やストレートネックなど、一見、腰とは関係なさそうな症状まで、実はこのバナナ腰が原因だった、という事例は数多い。ほかにも座骨神経痛、足やせ、頭痛、不眠、高血圧、足のむくみ、便秘、冷え性、寝たきり予防、老化防止などなど、そんな症状もバナナ腰を治すことで改善することも。

うたかたモザイク

著者名： 一穂 ミチ
出版社： 講談社

『スモールワールズ』『光のところにいてね』で話題の著者、一穂ミチのきらめきの欠片を集めた作品集。病める時も健やかなる時も――。あなたの気持ちにぴったり寄り添ってくれる13の物語。甘くてスパイシーで苦くてしょっぱい、味わい深いあなただけの人生がここにある。書き下ろしショートストーリー「透子」も収録。

最後の祈り

著者名： 薬丸 岳
出版社： KADOKAWA

東京に住む保阪宗佑は、娘を暴漢に殺された。妊娠中だった娘を含む四人を惨殺し、死刑判決に「サンキュー」と高笑いした犯人。牧師である宗佑は、受刑者の精神的救済をする教誨師として犯人と対面できないかと模索する。今までは人を救うために祈ってきたのに、犯人を地獄へ突き落としたい。煩悶する宗佑と、罪の意識のかけらもない犯人。死刑執行の日が迫るなか、二人の対話が始まる。動機なき殺人の闇に迫る、重厚な人間ドラマの書き手・薬丸岳の新たな到達点。

泣きたい夜の甘味処

著者名： 中山 有香里
出版社： KADOKAWA

「何度読んでも泣けてくる。胃の中から手当てされるような、甘味の力が詰まっている。」(漫画家・末次由紀)
とある町に、ひっそりとたたずむ一軒の甘味処。熊と鮭が営むこのお店は、夜だけしか営業していません。提供するの温かいお茶と、甘いもの一品だけ。今夜も、疲れて泣きたい人々がこの店に迷い込みます。
夢をあきらめた夜、愛する人を想う夜、自分のことが嫌いになった夜。。。一そんな夜は、この店で涙を流してもいいんだよ。主人公たちが知らない、もうひとつの視点から綴った書き下ろし52Pに加え、11のお菓子レシピがついています。

